

平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 2178 (令和 2 年 6 月 11 日)



Rotary



2019-2020 年度

国際ロータリー会長 / マーク・ダニエル・マローニー
2690地区ガバナー / 古瀬 俱之

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365

URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

会長 / 持田 稔樹 副会長 / 釜屋 治男
幹事 / 杉原 朋之 会計 / 板垣 文江

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
6月11日	卓話なし	短縮例会
6月18日	会長 持田稔樹	一年を振り返って
6月25日	休会	
7月2日	次年度会長 釜屋治男	新年度会長方針

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
42	30	12 (7)	85.71 %

■欠席者

飯塚詔 / 飯塚大 / 来間 / 神田 / 園山
(山根 / 牧野 / 遠藤 / 伊藤 / 河原 / 大谷厚 / 内田)

■来訪者

なし

■メイクアップ

なし

■次回例会受付当番

(6月18日) 大島淳司 / 園山 繁 / 高砂明弘

(7月2日) 大島淳司 / 田中浩史 / 土江光二

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えよう)

月	出雲中央 6/22(一)	松江南 6/29
火	出雲	松江しんじ湖 6/9(一)
水	大社 6/24(一)	松江 6/24
木	(一); ビジター受付 なし	松江東 6/25
金	出雲南 6/26(一)	

■会長挨拶



『四方山話』、同居の家族から学んだこと。

(祖父)『道具は自分で作る物』と言っていました。

磯市は11代目、祖父は0歳で父親と姉を亡くし、家督相続を2度しています。70歳まで現役で京都で大工をしていました。それに就いて行ったのが始まりで、現在まで家業を継ぐ羽目になりました。祖父が京都から帰ってから、脳梗塞で倒れ、バリアフリーの住宅改修をしました。

(祖母)『盥の水』水を無効に押して、人に先に親切にしない。そしたら帰って来るから。手先が器用で、楽焼、刺しゅう、短歌、歌、若い時には沢山の習い事をしていたようです。

(父)仕事以外では『若い時の苦労は買ってでもせよ!』それが有り、町内会、消防団、PTA、JC など、なんでもしていました。我家には父のお弟子さんが3~4人住み込んでいました。食事中は必ず説教を聞いていました。他の思い出は、家には丸い五右衛門風呂があり、上がった後にはお湯が15cm位しか残っていなかったで、最後の風呂に入る母が、必ず炊いてから入っていました。本当は、弟子が焚いて帰るルールでしたが、守らないで直ぐに逃げられていました。

(母)毎日弁当を5~6個は作っていました。(11人家族)母は物静かで、黙々と家事や事務をしていました。父が計算機で計算した見積書を、必ず算盤で検算していました。

ある意味、大家族を見て来た事が、かなり営業に繋がりました。住宅の介護改修をするときに、講習会の知識と実践を掛け合わせた、設計をするわけですが、それが中々上手く行きませんでした。

右手が効かなくなる人もいれば左手が効かなくなる人もいて、予測が立ちませんでした。また、大規模な住宅改修を2ヶ月もしていると、要介護になり、帰ってこれない人もいました。

最後に、『親の意見となすびの花は千に一つの仇がない』ということわざを信じて、先輩の言う事はそれぞれに重みがあると、いつまで経っても勉強しています。嫌なこともあった大家族ですが、その中で育ったことが、建築の基本となり、幸いでした。

■幹事報告

1. 古瀬俱之ガバナーより2020-2021年度地区ガバナーノミニー(2022-2023年度ガバナー)として

ともすえしげお

友末誠夫氏(津山RC)を正式決定の宣言がありました。

◀ 佐々木ガバナー補佐 ご挨拶 ▶



今年度の例会も残り2回となりました。次週の最終例会は、持田稔樹会長による「一年を振り返って」となっておりますので、本日、ガバナー補佐退任のご挨拶をさせていただきます。

約2年前クラブからの推挙をいただき、一昨年12月から7ヶ月間、事前の各種セミナーで研修を積み、昨年7月から本格的に始動しました。清原グループ幹事とともに、7・8月に就任挨拶としてクラブ訪問、そして9・10月

2 回目の訪問時にクラブ協議会に臨みました。地区大会後の 11 月、5 クラブ合同例会は、各クラブの福男・福女の紹介と記念品贈呈など、「新しい」「楽しい」企画で開催することができました。

今年 1 月、プレオープン前の文吉たまきで 5 クラブ会長幹事会が開催された時点まではスケジュール通りに行事が進んでいましたが、その後、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、3 月予定のIMも中止となり、ロータリーの例会も、多くのクラブでは、3～5 月の例会を自粛されるに至りました。この状況の中で、6 月に他クラブへ訪問することがはばかれるため、先月末の時点で、他の 4 クラブには、退任挨拶のメッセージとスマイルを送らせていただきました。

年度内の行事としては、6 月 21 日に開催される地区危機管理委員会が残っていますが、例年のように新旧合同ではなく、今年では出雲市と岡山市で個別に開催されることになっています。

同期のガバナー補佐が 10 名います。当初のスケジュールでは 6 月 21 日に第 4 回ガバナー補佐会が開催される予定でしたが、補佐会は中止となりましたので、1 月の第 3 回補佐会以来、10 名とは顔を合わせる機会がないまま年度末を迎えることになってしまい、不完全燃焼のような複雑な気持ちです。

私は今まで、合同例会を除いて、他クラブの例会訪問をしたことがありませんでしたが、今年度初めて、それも計 8 回他クラブ訪問を経験しました。また、出雲中央RCへのクラブ訪問では、2 回とも、古瀬ガバナーの地区内公式訪問がない日でしたので、ガバナーのいらっしゃる前で会員の皆さんに向けてお話しをすることになり、なんとも言えない感覚ではありましたが、ガバナー輩出グループのガバナー補佐という非常に貴重な経験をさせていただいたんだなと、つくづく感じています。

皆さんには、長きにわたって、ご支援・ご協力いただき、本当にありがとうございました。

■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

佐々木G補佐・清原グループ幹事

（まもなく任期を終えることになります。皆さんのご支援・ご協力に厚く感謝申し上げます。）

持田稔（コロナの影響で次年度にうまく引き継げるか心配しましたが、新しい時代の始まりと思い、新しいロータリーをみんなで考えましょう。）

恒松（最近よいことがあり喜んでます。）

石原輝（久しぶりに例会場へ入って。平高の甲子園出場が本当に実現することになって。）

■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

新型コロナウイルス感染予防のため なし